

ドイツ語（初級B）／A ドイツ語 第17回 形容詞

* 授業の回数は通年で表記する。

範囲：教科書第10課 A (S.39-41)

《今回の基本例文》

51. Wir trinken gern japanischen grünen Tee. (CD56-1)

私たちは日本の緑茶（を飲むの）が好きだ。

[形容詞の付加語的用法（強変化）]

52. Die ganze Welt bedauert den plötzlichen Tod dieses großen Künstlers. (CD54-3)

世界中がこの偉大な芸術家の突然の死を悼んでいる。

[形容詞の付加語的用法（弱変化）]

53. Dort steht ein junger Mann mit seiner hübschen Frau. (CD55-1)

若い男が一人、かわいらしい奥さんと一緒にあそこに立っている。

[形容詞の付加語的用法（混合変化）]

54. Er wohnt seit einem Jahr bei seinen Verwandten. (CD57-3)

彼は一年前から親戚の家に住んでいる。

[形容詞の名詞化]

I 形容詞の格変化

A. 形容詞 (S.39)

補足 形容詞のまとめ

◇ 教科書にもあるように、ドイツ語の形容詞には3つの用法がある。

・ **述語的用法**。sein, werden, bleiben, heißen など、特定の自動詞の述語（**述語内容語**）となる。英語の補語（SVC 構文の C）に対応する。すでに学習した。（⇒授業第4回配付資料 S.5）

・ **付加語的用法**。名詞の前に置いてその名詞を修飾する。用法としては英語と同じだが、名詞の性・数・格に合わせて変化する。この項で学習する。

・ **副詞的用法**。形容詞をそのまま副詞として使い、動詞を修飾する。英語とは異なる。すでに学習した。

* 英語の場合、good / well、beautiful / beautifully など形容詞と副詞が別。ドイツ語ではそうではない。

1) Sie ist schön.

彼女は美しい。（述語的用法）

2) Sie ist ein schönes Mädchen.

彼女は美しい娘である。（付加語的用法）

3) Sie singt schön.

彼女は美しく歌う。（副詞的用法）

◇ ドイツ語では、名詞にくっついて修飾する要素は、ほぼ性・数・格に応じた変化をする。

- ・定冠詞、不定冠詞（⇒教科書第2課A）
- ・定冠詞類（dieser型）、不定冠詞類（mein型）（⇒教科書第4課A）
- ・付加語用法の形容詞：本稿で扱う

1 付加語としての形態と用法

◇ 形容詞の付加語的用法では、修飾する名詞に合わせた格変化が行われるが、その格変化は、名詞についている冠詞・冠詞類に応じて3種類が存在する。

- c) 名詞が無冠詞：**強変化**
- a) 名詞に定冠詞・定冠詞類がついている：**弱変化**
- b) 名詞に不定冠詞・不定冠詞類がついている：**混合変化**

・c)の**強変化**には、定冠詞とほぼ同じ語尾が現れる。ただし、男性および中性の2格は-en、中性の1格と4格は-es となることに注意。

	男性	女性	中性	複数
1格	-er	-e	-es	-e
2格	-en	-er	-en	-er
3格	-em	-er	-em	-en
4格	-en	-e	-es	-e

・a)の**弱変化**には、-e と-en の語尾だけが現れる。単数形の場合、1格はすべて-e、2格と3格はすべて-en、4格は男性のみ-en で残りは-e。複数形はすべて-en。

	男性	女性	中性	複数
1格	-e	-e	-e	-en
2格	-en	-en	-en	-en
3格	-en	-en	-en	-en
4格	-en	-e	-e	-en

・b)の**混合変化**には、男性単数1格、中性単数1格、中性単数4格のみ強変化と同じ、あとは弱変化と同じ語尾が現れる。

	男性	女性	中性	複数
1格	-er	-e	-es	-en
2格	-en	-en	-en	-en
3格	-en	-en	-en	-en
4格	-en	-e	-es	-en

◇ 形容詞の付加語的用法を学習したことで、本学のドイツ語名を書けるようになった。

Naturwissenschaftliche Universität Tokio
東京理科大学 (naturwissenschaftlich *adj.* 自然科学の)
Ich studiere an der Naturwissenschaftlichen Universität Tokio.
私は東京理科大学に在学しています。

補足 形容詞の変化表の覚え方

◇ 形容詞の変化表は、闇雲に丸暗記する必要はない。形容詞の変化表の大本は定冠詞の変化表であり、これをベースに覚えていけばよい。

	男性	女性	中性	複数
1格	der	die	das	die
2格	des	der	des	der
3格	dem	der	dem	den
4格	den	die	das	die

これら定冠詞の語尾は、次に来る名詞の性数格に対する「マーキング機能」を持つ。語尾だけ抜き出すと、

	男性	女性	中性	複数
1格	-er	-e	-as	-e
2格	-es	-er	-es	-er
3格	-em	-er	-em	-en
4格	-en	-e	-as	-e

* dieのところはeだけ抜き出すのがポイント (-ieではない)。

◇ 無冠詞の名詞にかかる形容詞は、定冠詞に代わってマーキング機能を果たさなければならない。このため、基本的に定冠詞と同じ語尾がつくことになる。これが**強変化**である。

	男性	女性	中性	複数
1格	-er ...	-e ...	-es ...	-e ...
2格	-en ... (e)s	-er ...	-en ... (e)s	-er ...
3格	-em ...	-er ...	-em ...	-en ... n
4格	-en ...	-e ...	-es ...	-e ...

定冠詞と異なる(表の網掛部分)のは以下の2点。ここだけ覚えればよい。

- ・ **男性2格、中性2格**：-esではなく**-en**。
* 男性2格や中性2格の場合、名詞自体に-(e)sがついており、そちらがマーキング機能を果たしているため。
- ・ **中性1格、中性4格**：-asではなく**-es**。
* 定冠詞類 (dieser型) と同じ。

◇ 定冠詞(類)つきの名詞にかかる形容詞は、すでに定冠詞(類)がマーキング機能を果たしてくれるため、省エネ的な語尾(弱語尾)でよい。これが**弱変化**である。

	男性	女性	中性	複数
1格	der -e ...	die -e ...	das -e ...	die -en ...
2格	des -en ... (e)s	der -en ...	des -en ... (e)s	der -en ...
3格	dem -en ...	der -en ...	dem -en ...	den -en ... n
4格	den -en ...	die -e ...	das -e ...	die -en ...

弱変化の語尾は-eか-enだが、ほぼ-enなので、-eの部分(表の網掛部分)を覚えること。

* 定冠詞と同じかたちが現れる変化を強変化、-enのかたちが現れる変化を弱変化、この二者が混ざった変化を混合変化と呼んでいる。男性弱変化名詞を学習した際に説明した通り。(⇒授業第6回配付資料S.3)

◇ 不定冠詞 (類) 付きの名詞にかかる形容詞は、不定冠詞 (類) がマーキング機能を果たしている限り弱語尾でよいが、不定冠詞 (類) が無語尾であるところでは、自分でマーキング機能を果たさなければならず、そこだけ強変化の語尾がつく。これが**混合変化**である。

	男性	女性	中性	複数
1 格	ein○ -er ...	eine -e ...	ein○ -es ...	meine -en ...
2 格	eines -en ... (e)s	einer -en ...	eines -en ... (e)s	meiner -en ...
3 格	einem -en ...	einer -en ...	einem -en ...	meinen -en ...n
4 格	einen -en ...	eine -e ...	ein○ -es ...	meine -en ...

* 表では、不定冠詞が無語尾であるところには、便宜的に○を記した。

** 複数形の不定冠詞類は mein で例示してある。

不定冠詞 (類) が無語尾であるところ (男性 1 格、中性 1 格、中性 4 格 = 表の網掛部分) を覚えること。

練習問題の補足

Übung 2 (S. 39)

2. *et³. / zu et³. passen* (3 格) に似あっている

Übung 5 (S. 40-41)

2. *wünschen* は他動詞で「(3 格) に (4 格) を望む」の意味。

II 形容詞の名詞化

2 形容詞の名詞化 (S. 41)

◇ ドイツ語では、性と数によって、**形容詞の名詞化**の意味が異なってくる。

* 「形容詞の名詞化」は英語にも存在する。英語の場合、*the*+形容詞は、「～な人々 (複数)」、「～なもの (単数)」を表す。

the poor 貧しい人々 (複数)

the bad 悪いもの=欠点 (単数)

形容詞の名詞化の

- ・ 男性形: 「～な男」
- ・ 女性形: 「～な女」
- ・ 複数形: 「～な人々」
- ・ 中性形: 「～なもの、～なこと」

◇ 形容詞の名詞化にあたっては、

形容詞の語頭 = 大文字

形容詞の付加語用法の変化形を踏襲する

- ・ 無冠詞: 強変化
- ・ 定冠詞 (類) 付き: 弱変化
- ・ 不定冠詞 (類) 付き: 混合変化

◇ *krank* (*adj.* 病気の) から「病人、患者」をつくる場合、

・ 定冠詞付き: 「その病気の男/女/人々」 → 弱変化

	男性形	女性形	複数形
1 格	der Kranke	die Kranke	die Kranken
2 格	des Kranken	der Kranken	der Kranken
3 格	dem Kranken	der Kranken	den Kranken
4 格	den Kranken	die Kranke	die Kranken

・ 不定冠詞付き: 「ある病気の男/女」 → 混合変化

	男性形	女性形
1 格	ein Kranker	eine Kranke
2 格	eines Kranken	einer Kranken
3 格	einem Kranken	einer Kranken
4 格	einen Kranken	eine Kranke

・ 無冠詞: 「病気の人々」 → 強変化

	複数形
1 格	Kranke
2 格	Kranker
3 格	Kranken
4 格	Kranke

* これらは医師の業界用語「クランケ」の語源。

◇ 形容詞の名詞化の中性形は、

・一般的には「～なもの」の意味。gut から「よいもの、善」をつくる場合 (定冠詞つき=弱変化の例)、

	中性形
1 格	das Gute
2 格	des Guten
3 格	dem Guten
4 格	das Gute

・ etwas (英語の something) や nichts (英語の nothing) などの不定代名詞とともに使われることがある。etwas+形容詞の名詞化、nichts+形容詞の名詞化については、いずれも形容詞の前に冠詞がないと考え、その形容詞は中性の強変化を行う。 etwas+形容詞の名詞化 (中性) は「なにか～なもの」、nichts+形容詞の名詞化 (中性) は「いかなる～なものも...ではない」の意味になる。

	中性形	
1 格	etwas Schönes	nichts Schönes
2 格	(etwas Schönen)	(nichts Schönen)
3 格	etwas Schönem	nichts Schönem
4 格	etwas Schönes	nichts Schönes

◇ 名詞のなかには、形容詞の名詞化としてのみ存在するものがある。

- (der) Bekannte 知人 (の男)
- (der) Verwandte 親戚 (の男)
- (der) Angestellte サラリーマン (の男)
- (der) Beamte 公務員 (の男)

むろん、女性形や複数形にもなりうるし、不定冠詞つき (混合変化) や無冠詞 (強変化) もありうる。

◇ 形容詞の名詞化としてのみ存在する名詞を辞書で調べる際は、男性単数 1 格の弱変化形をそのまま引く。「知人」の場合は Bekannte を調べると、下記のように掲載されている。各自の辞書で要確認。

Bekannte 男 女 《形容詞変化》 知人、知り合い

* 「男 女」は男性形や女性形になりうるという意味。また、《形容詞変化》などの注が書かれているのが普通。

◇ 以下、例文の補足。

Der Kranke muss im Bett liegen.

その病人は寝ていなければならない。

* im Bett liegen で「寝ている」。im は in + dem の融合形。 (⇒教科書 S. 23)

Hast du heute Abend etwas Besonderes vor?

君は今晚なにか特別な計画があるかい?

* vorhaben は分離動詞で、「(4 格) を計画する」を意味する他動詞。

連絡先など

教員のメールアドレス: tokan@nifty.com 授業のウェブサイト (進捗表示、配付資料あり): <http://hasegawa.la.coocan.jp/lecture/>